

「一家に1枚 南極 - 地球の未来を映す窓 -」で楽しく学ぶポイント

たくさんの情報が掲載されている南極ポスターから、段階に分けて注目ポイントを紹介します。興味のある事柄は本やインターネットで調べて、更に理解を深めましょう。

■小学生（高学年）

- ・南極大陸の面積は日本の何倍くらいあるのかな。
- ・南極大陸は氷で覆われているよ。断面図で確認してみよう。日本のドームふじ基地と富士山はどちらが高いかな。
- ・海で囲まれた南極にはここだけしかいない生き物がいます。いろいろな南極の生き物の大きさを比べてみよう。
- ・日本の観測基地は外国の観測基地とどれくらい離れているかな。
- ・南極ではどんな観測をしているかな。

■中学生

- ・南極の空、海、陸（氷床）の観測や調査で地球の何を調べているのでしょうか。
- ・過去 50 万年の二酸化炭素濃度の変動を見てみましょう。今後、二酸化炭素濃度が増えるとどうなるのでしょうか。
- ・オーロラやオゾンホールはどの高度に出現するのでしょうか。
- ・約 5 億年前、南極昭和基地の場所は今のどの国と近かったのでしょうか。
- ・もっと古い太陽系の歴史は何でわかるのでしょうか。

■高校生

- ・地球の過去・現在・未来を知るための南極の観測を整理してみよう。
- ・予測される気候変動の誤差を小さくするために、南極でどんなことが調べられているのだろう。気候変動対策を採る場合、採らない場合の人類の将来を想像して、気候変動対策の重要性を確認しよう。対策として我々ができることを考えてみよう。
- ・南極条約で制限されているものは何か、1998 年以降追加された約束は何か、また、南極条約や関連する議定書を遵守することがなぜ大切なのか、意義を考えてみよう。
- ・「南極ポールを囲む原署名国 12 か国の国旗」の写真をヒントに南極条約遵守の推進役となる原署名国 12 か国を確認しよう。
- ・各国の越冬基地の分布を調べてみよう。これをもとに日本の観測基地の役割や国際貢献を考えてみよう。